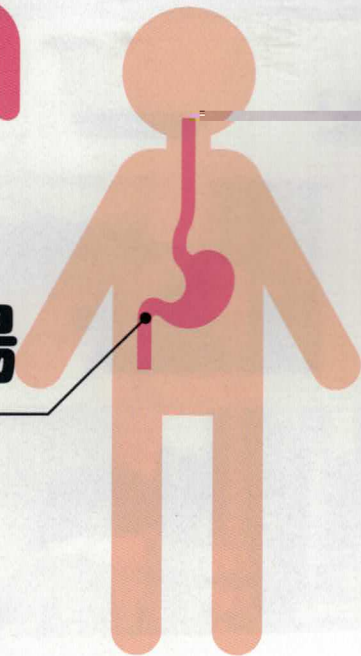


臓器のはなし



今月は 十二指腸

胃と小腸をつなぐ 消化の最終関門

胆石の出口。除去は、内視鏡下で行う場合も

小腸と胃を結ぶ部分が十二指腸です。名前は指12本を横に並べた長さ由来し、実際には25cmほどで、小腸全体の6〜7mに比べるとかなり短いです。十二指腸の壁には、胆のうからつながる胆管と、すい臓からの膵管の開口部があり、消

化液の胆汁とすい液が注がります。それらが胃から運ばれてきた食物と混ぜて消化の最終段階へ。細かく分解されてできた単糖質やアミノ酸、ド、アミノ酸などが吸収される小腸へ送り出されるわけです。

十二指腸は部位としては小腸の一部になりますが、胃とセットになって働く消化器官。小腸で効率よく栄養素を吸収するためにも、食べ物を細かい分子に分解する、十二指腸の役割が重要なのです。また十二指腸に胃で消化された食物が入ってくると脂肪の消化物が十二指腸の粘膜を刺激し、コレシストキニンというホルモンが分泌されます。この物質が胆汁、すい液の分泌を促し、十二指腸へ流れ込む仕組みになっています。

十二指腸は胆石が排出される場所でもあり、胆のうや胆管の中にできる結晶である胆石は胆管を通じて十二指腸に排出されますが、排出されず胆石が胆管を塞いでしまい、発熱、痛み等を伴う症状を「総胆管結石症」と呼びます。そんなった場合、胃カメラ(内視鏡)を十二指腸まで入れ、十二指腸乳頭(総胆管の開口部)を確認、そこからさらに細いカテー

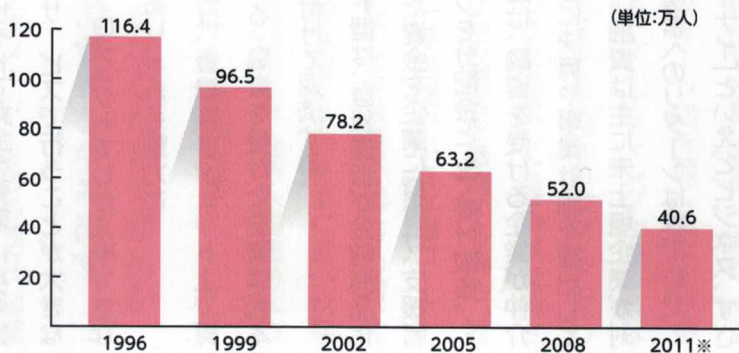
テルを胆管内に入れ、造影剤を注入し、レントゲンで胆石の状態を確認します。そして総胆管内に留まる胆石を専用の鉗子を使用し、砕いて、掻き出す治療を行います。

狩猟民族の名残 ストレスから潰瘍へ

主な病気には、十二指腸潰瘍があります。胃潰瘍と同じように、タンパク質などを消化する胃酸と、臓器を守る粘膜の働きとのバランスが崩れることで発症します。精神的なストレスがかかるとすると酸性過多となり、十分に中和されず、十二指腸の粘膜に潰瘍ができてしまつわけです。

基本的にストレスがかかるのは、人間の本能です。かつて狩猟民族として肉を食べていた時代、生死をかけて獲物と格闘することで交感神経が刺激され、胃酸が大量に分泌したといわれています。狩猟民族の戦闘時の精神的な状態は、ストレスがかかった時と変わりません。仕事などのストレスで胃や十二指腸は酸性過多になり、潰瘍を誘発します。ストレスが多い人ほど注意してください。

胃潰瘍・十二指腸潰瘍の患者数の推移



*2011年は宮城県石巻医療圏および福島県を除いた数値 出典：厚生労働省「患者調査」より抜粋

監修

浅海 直

あざうみ すなお
(医療法人社団 平成医会 産業医)



1993年千葉大学医学部卒。2007年12月まで松戸市立福祉医療センター東松戸病院(内科副部長)、2008年1月より板橋区役所前診療所に勤務。専門分野は糖尿病、脂質異常症、甲状腺疾患等の代謝・内分泌疾患および老年医学。